

奈良県立医科大学「女性研究者のキャリア向上を目指して」

奈良県立医科大学では、平成 23 年度から平成 25 年度まで文部科学省女性研究者研究活動支援事業により、女性研究者がその能力を最大限発揮し、研究を継続・発展させ、キャリア向上を図ることができる研究環境の整備を行ってきた。

【実施体制】

女性研究者支援センター「まほろば」は学長直轄の組織で、支援センター長は副学長（医学部長、教育・研究担当理事）が兼任している。総務・経営担当理事及び学長が指名する教授 4 名から構成される運営委員会を設置し、センター長を議長として、運営管理に関する事項を審議する。支援センターには運営実施者として、マネージャー（医学科専任教員）を置き、コーディネーターを本学医学科教員から 4 名兼任として配置している。支援センター長の指揮下に「相談」、「シンビオティック（共生）ラボ」、「研究・企画・管理・運営」、「啓発・広報」、「次世代育成・教育」の 5 部門を設置。事務局は本学研究推進課に置き、事務職員 2 名を支援センターに配属し、各部門の活動を補佐する。

【主な取組内容】

■新規参入女性研究者の増加支援

事業開始前の平成 22 年 5 月時点では、本学医学科教員の女性比率は 11.2%、医学部女性研究者の女性比率は 23.1%であったが、評価が同等の場合は女性を優先的に採用するポジティブ・アクションをとった成果として、事業終了時の平成 26 年 3 月には、それぞれ 15.3%、25.6%に上昇した。特に講師以上の上位職については目標値を大幅に超える数値を達成した。

■研究とライフイベントとの両立

妊娠・出産、育児や介護といったライフイベントが原因で、一定期間研究の継続が困難あるいは研究時間が十分に取れない女性教員には申請に基づき、研究支援員を配置している。平成 26 年 10 月からは教員採用前の診療助教・研究助教にも支援対象を拡大した。

学内保育園は定員 60 名で、夜間保育の時間延長、毎土曜日保育、夏休み等の臨時・短期保育、病初期（体調不良児）保育も実施している。平成 26 年 9 月時点で児童数は 64 名に増加しており、平成 27 年度以降は保育園を増築して定員を 90 名に拡大し、県内医療機関に外部委託して病児保育を実施する予定。

■未来の女性研究者の育成推進

優れた女性研究者の表彰等によって意識啓発を図るため、平成 23 年度に本学の大学院生を含む女性研究者を対象とした「女性研究者学術研究奨励賞」を創設し、毎年 1 名の女性研究者を顕彰している。

また、臨床研修医や医学科学生等を対象にキャリアについて考えるワークショップを毎年開催しており、平成 26 年度からは医学科 3 年生対象の「医学概論」の中の正規カリキュラムとなった。

女子中高生の医理系進路選択支援として、平成 26 年度は J S T 「女子中高生の理系進路選択支援事業」に採択され、「いのちを支える」医理系分野の多様性、研究の面白さを示すことにより、中高生の医理系進路選択を促すイベントを年 5 回実施する。

■意識啓発・研修の徹底

本学の教職員を対象に職場環境改善・ハラスメント防止・男女共同参画に関する研修を年 2 回以上開催している。また、個人的に研修が可能となるように DVD 教材を作成し、貸出を行っている。これらの取組により、平成 25 年度には教授全員と教授以外の教員の 70%以上の受講を目指すという目標を達成した。その他、ホームページやニュースレターなどの発行による広報活動や情報提供、専門書籍等の貸出等を行っている。

■女性研究者の早期離職防止

ハラスメントや人間関係等の種々の悩みに対して、マネージャーと心理相談員が相談に乗り、解決を図るとともに、一時保護が妥当と判断された場合には、被害申立て者を「シンビオティック（共生）ラボ」に一定期間保護して研究活動の継続を可能としており、事業開始以降、採用から 2 年以内の早期退職者がゼロになった。

【平成 26 年度以降の取組】

大学独自予算で支援センターを継続し、臨床系女性教員をセンター専任教員（マネージャー）に任命し、これまでの取組を継続・発展させ、男女共同参画推進を図る。また、本学中期計画に基づいて女性の臨床系教員の増加、女性の研究者の継続・復職支援による女性研究者支援、ワーク・ライフ・バランスの充実強化、短時間正規労働制度の導入等への支援・協力を行う。

【連絡先】

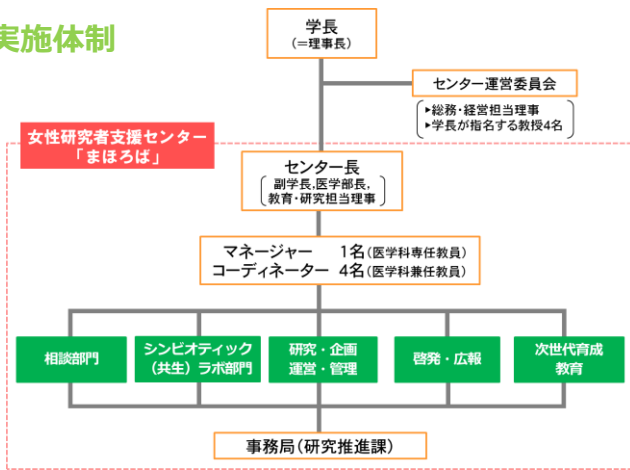
奈良県立医科大学 女性研究者支援センター「まほろば」

TEL: 0744-23-8011 FAX: 0744-29-9940 E-mail: jshien@naramed-u.ac.jp

URL: <http://www.naramed-u.ac.jp/~josei/index.html>

『女性研究者のキャリア向上を目指して』 奈良県立医科大学 女性研究者支援センター「まほろば」

▶実施体制



▶平成 26 年度以降の取組

- ▶大学独自予算で支援センター継続
- ▶臨床系女性教員をセンター専任教員(マネージャー)に任命
- ▶これまでの取組を原則同等の規模で継続し発展させる
- ▶男女共同参画推進

* 本学の中期計画における女性研究者支援

- ▶女性の臨床系教員増加(平成 24 年 23 名→平成 30 年 35 名)
- ▶女性の研究者の継続・復職支援による女性研究者支援
- ▶ワーク・ライフ・バランスの充実強化
- ▶短時間正規労働制度の導入等就業規則の見直し

▶新規参入女性研究者の増加支援

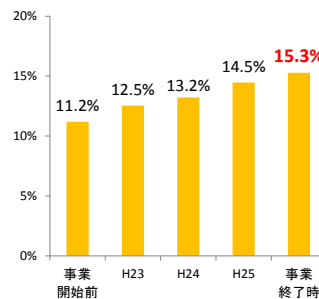
* 女性研究者の積極的採用

教職員の登用・採用にあたっては、評価が同等の場合は女性を積極的に採用するポジティブ・アクションをとった

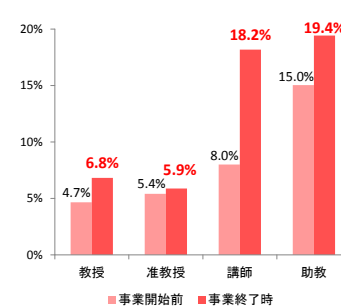
⇒事業開始前(平成 22 年度)から女性比率が大幅に上昇!

| | |
|-------------|---|
| ▶医学科女性教員比率 | 11.2%→ 15.3% (目標 14.0%) |
| ▶医学科上位職女性比率 | 教授 4.7%→ 6.8% (目標 4.7%) 准教授・講師 6.9%→ 11.6% (目標 6.9%) |
| ▶医学部女性研究者比率 | 23.0%→ 25.6% (目標 26.0%) |

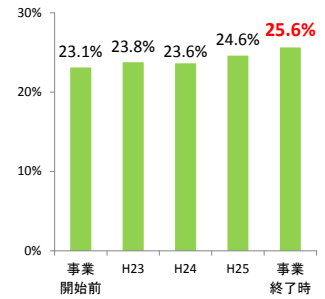
医学科女性教員比率



医学科職位別女性比率



医学部女性研究者比率



▶研究とライフイベントとの両立

* 研究支援員の配置

妊娠・出産、育児、家族の介護等ライフイベント中の女性研究者の研究継続支援のために研究支援員を配置

支援対象者:女性教員(教授・准教授・講師・助教)

⇒産休・育休終了時点での退職者ゼロに!

※平成 26 年 10 月より教員採用前の診療助教・研究助教にも対象を拡大



* 学内保育園の拡充

定員: 60 名 受入年齢: 就学前まで

保育時間延長、夜間保育、土曜日保育、夏休み等の短期保育

※平成 27 年度より定員を 90 名に増加、県内医療機関に外部委託して病児保育を開始予定



▶意識啓発・研修の徹底

* 研修会の開催

本学の教職員等を対象に年 2 回以上、職場環境改善・ハラスメント防止・男女共同参画に関する研修会やシンポジウムを開催

- ▶医療安全管理研修会「職場のいじめ・嫌がらせ、パワーハラスメントの予防・解決に向けて」(独)労働政策研究・研修機構 内藤忍氏
- ▶FD講演会「医科大学・附属病院における男女共同参画」奈良県立医科大学 前学長 吉岡章氏



* 研修用教材による自習

研修会に出席できない方のためにハラスメント防止研修 DVD を作成し、貸出

⇒教授 100%、教授以外の教員の 70%以上の研修受講達成!

* HP や啓発冊子による情報提供

ホームページやパンフレット、ニュースター、相談カードの教職員・学生への配布

▶未来の女性研究者の育成推進

* 女性研究者学術研究奨励賞

優れた研究成果を挙げられた本学の女性研究者を顕彰

* キャリア教育の実施

臨床研修医、学生などを対象として、キャリアについて考えるワークショップを開催

⇒平成 26 年度より医学科正規カリキュラム「医学概論」で実施

* 大学院生女性比率の上昇

平成 22 年度 30.1%から平成 25 年度 39.1%(目標 40.0%)に上昇

* 女子中高生の医理系進路選択支援

JST「女子中高生の理系進路選択支援事業」に採択

平成 26 年度に全 5 回イベントを実施



▶女性研究者の早期離職防止

* シンビオティック(共生)・ラボ、相談、ハラスメント対策

ハラスメント等により研究が困難になった研究者の研究継続支援のために緊急避難場所を提供

⇒採用から 2 年以内の早期退職者ゼロに!



奈良県立医科大学 女性研究者支援センター「まほろば」

〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840

【TEL】0744-23-8011 【E-mail】jshien@naramed-u.ac.jp

【FAX】0744-29-9940 【URL】http://www.naramed-u.ac.jp/~josei/

